

### 「世代間交流ができる施設」

- \* 空き店舗を借り学生の溜まり場  
→そこから発展し、最終的にはカフェのような場所にする。
- \* 駅前にフリースペースを作る（広場のような場所）  
→この空間ではなにをしてもOK（散歩、BBQ、商売など・・・）
- \* 交流出来るスペース兼高齢者住宅（4F~の建物）  
→学生、若者は入りづらいのでは・・・？  
→医療福祉生だからこそボランティアとして利用する人がいるのでは・・・？

- ☆ 2通りの発想
  - ① 街の駅的な拠点
  - ② サービス付高齢者住宅のような  
単身者住宅施設

### 「新しいスポーツの開拓」

- \* 広い範囲で出来る→水鉄砲大会、逃走中など手軽に参加出来る。
- \* 人生ゲーム→町中に双六を描く
- \* 高齢者も一緒に参加できる（室内カーリング、輪投げ、お手玉）  
→どンドン次の世代に教え昔からある遊びとして根付かせる。

- ☆ すぐにでもできる  
ソフト開発から始める。
- ☆ 「街歩き」と絡めた  
ゲーム化の可能性？

### 学生・若者に優しい街

- \* 学生や若者が行きやすい店が足りないのでは・・・？  
→夜に飲み屋に行く若者が多い。  
→手ごろな価格の定食屋

- ☆ 学生や若者の行動様式や習慣等を  
勘案した事業展開が望まれる。  
→本当に欲しがっているのか？

### 元気な高齢者の活用

- どんなシステムにするか・・・。
- \* 高齢者が学生に教え、それを学生が広め、  
一緒に参加する（ダンス、よさこい）
- \* 高齢者が店番をする低営利のお店
- \* 元気な高齢者が活動する場所は？  
元気な高齢者と接する場所は？



既に元気な高齢者の活動は行われている。  
学生に限らず知らない人が多い。

- ☆ すでにコミュニティ活動や公民館活動などで  
数えきれないほどの活動が行われているらしい。  
それにもかかわらず、なぜこのような提案が学生  
から出されているのか？  
① 若者との連携を志向していないので、若者への  
情報提供も協力要請もない。  
② ひっそりとボランティア活動として行われて  
おり、地域全体としての評価も少なく、周知さ  
せるエネルギーも少なくなっている。

『コミュニティビジネス』的な発想を導入して、  
ボランティアからビジネスへ移行することで、  
地域全体としての発信力を再検討する。